

標 題 : Diet and Colorectal Adenomas : a Case-Control Study in Majorca  
食事と結直腸の腺腫 : マジョルカ島における症例 - 対照研究

---

著 者 : E. Benito, et al. (スペイン バルセロナ大学 医学部)

---

掲 載 誌 : Int. J. Cancer 55: 213-219 (1993)

---

要 旨 : 食事因子と結直腸の腺腫に関する症例 - 対照研究をスペインのマジョルカ島で1987年4月から1990年2月まで実施した。

食品頻度アンケートを用いて被験者に面接した。地域の食品組成表を用いて、栄養素およびカロリー摂取を算定した。

結直腸の腺腫リスクは、砂糖およびパイ風菓子(pastries)の摂取と関連した。

野菜の摂取は調理方法にかかわらず高い予防作用であった。

果物と野菜由来の繊維、マグネシウムと亜鉛、ビタミンC、B6、および葉酸が、栄養素の分析で予防因子と確認された。

アルコール摂取、飽和脂肪と動物タンパクの摂取による過剰リスクは見られなかった。

非食事要因のうち、職場での座業および都市居住だけが危険因子(risk factors)として確認された。

---